

H24 年度研修会報告

今年度の教育実践学会研修会は、6月17日（日）、10時～15時まで東京都町田市の玉川大学学術研究所心の教育実践センターのホールを会場として開催致しました。

研修テーマは「玉川アドベンチャープログラム（t a p）を用いたコミュニケーション能力の再確認」であり、講師を工藤亘 先生（教育実践学会員・玉川大学教育学部准教授）をお願い致しました。

参加者は学会会員をはじめ、現職の小学校教諭、教育委員会指導主事、教育学部の学生などであり、楽しみながら t a p の様々なアクティビティを通して体験的に自分自身のコミュニケーション能力について再確認をすることができました。

午前中は、心と体をほぐすアイスブレイキングから和やかに始まり、ペアワークではお互いに伝えたいことに「解釈のズレ」が生じている可能性があることについて学びました。昼食中もテーブルを囲んで様々な話題や日常生活の話で打ち解けた雰囲気になり、情報交換が豊かなものになりました。

午後は、午前中のペアワークからの学びを活かし、相手の立場や状況を考慮した上での自己主張を心がけ、グループでの情報伝達や課題解決型の活動を行い、ふりかえりをしながら相互に気づき、感じ、学んだことを次の活動に転用できるような体験学習サイクルに則った学び合いができました。

最後の全体のふりかえりで多くの参加者は、「明日からの児童・生徒達との関わり方や教え方・伝え方の参考になった」と言っていたのがとても印象的な研修会でした。

研修の様子

